

日本ベジタリアン学会第17回（2017年度）大会のご案内

日本ベジタリアン学会 会長 高井 明德
大会長 中川 雅博

日本ベジタリアン学会第17回大会は、東京都新宿区の「つぶつぶセミナーホール」において開催いたします。

特別講演は、毎年、NPO 法人日本ベジタリアン協会との共催事業として開催していますが、本年は、ロマリンダクリニック院長・医学博士の富永國比古先生に「治療としてのベジタリアンダイエット一癌、婦人科疾患を中心に」の題目でご講演いただきます。講演テーマは会員の多くが関心を持たれている内容だと思います。研究活動と共に学会の柱である啓発活動に重点を置き、協会会員や一般の方々が多数ご参加いただけるよう、企画いたしました。

大会の一般講演につきましては、**若手研究者等の研究奨励のために**、優れた内容の発表に**プレゼンテーション賞**を授与いたします。

より充実した内容の大会にすべく準備委員一同鋭意準備に取り組んでおりますので、どうぞお誘い合わせの上、本大会にご参加下さいますようお願い申し上げます。また、お知り合いの研究者、とくに若い研究者の方々へ、大会への参加と学会加入を勧誘して頂ければ幸甚に存じます。

懇親会では、菜食料理を楽しみながら、情報交換をいたしたく、多数のご参加をお待ちしています。

1. 会 期 2017年11月26日（日）午後2時30分

2. 会 場 「つぶつぶセミナーホール」

〒162-0851 東京都新宿区弁天町 143-5 TEL 03-3203-2090

都営地下鉄大江戸線「牛込柳町」駅 徒歩5分 東京メトロ東西線「早稲田」駅 徒歩10分

詳細は <http://b-tubutubu.com/> をご覧ください。

3. プログラム

◇14:30 総会

◇15:00 一般講演

◇16:00 特別講演（協会との共催：東京講演会）

「治療としてのベジタリアンダイエット一癌、婦人科疾患を中心に」

講師 ロマリンダクリニック院長・医学博士 富永國比古氏

◇18:00 懇親会

4. 大会参加の申し込み・総会欠席の委任状・一般講演申し込み

E-mailで、タイトルを「日本ベジタリアン学会参加申し込み 氏名」とし、氏名、所属、住所、電話、E-mailアドレス、会員の有無、総会出席の有無、懇親会出席の有無、を記入の上、下記アドレスにお送りください。大会参加の有無に関わらず、総会欠席の会員は必ず下記委任状をお送りください。 **送付先：E-mail: inform@jsvr.jp**

一般講演ご希望の方は、講演申し込みの書類をお送りしますのでご連絡ください（HPにも掲載）

5. 参加費

学会会員 3,000円、非会員 8,000円、懇親会費 3,000円

参加費等の納入は下記にお願いいたします。但し、11月15日以降は大会当日に納入して下さい。

郵便振替：00990-8-18083「日本ベジタリアン学会」

【学会事務局】

日本ベジタリアン学会事務局
〒538-0053 大阪市鶴見区鶴見 6-2-28
大阪信愛女学院短期大学鶴見学舎 内
Tel: 06-6180-1041 Fax: 06-6180-1045
E-mail: inform@jsvr.jp
Web Site: <http://www.jsvr.jp/>

日本ベジタリアン学会 2017年度総会委任状

2017年11月26日開催の日本ベジタリアン学会総会における議決を会長(又は〇〇)に一任します。

2017年 月 日 氏名：

一般講演申し込み

1. 一般講演申し込み (E-mail) 締め切り：2017年10月1日(土)

E-mailにて申し込んでください (送付先アドレス：inform@jsvr.jp)

①内容：タイトルを「日本ベジタリアン学会講演申し込み」とし、大会参加申込票・一般講演申込票、予稿集原稿を添付してお送り下さい。

②予稿集原稿：サンプルに従ってMS Wordで作成してください。

③受付連絡：受信後、**1週間以内に受付の返信をします**。返信がない場合はお問い合わせください。

* 一般講演の採否は11月1日までにご通知いたします。

* 研究者は全員学会員である必要がありますので、非会員の研究者は入会申し込みをしてください。

2. 講演予稿集原稿

原稿はA4の用紙に【上2.5cm、下4cm、左3cm、右5cm】のマージンを取り、1行目<一般講演>と書き、2行目 演題、1行あけて研究者(演者の頭に○をつける)および所属を記入し、1行あけて本文を書いて下さい。

字体はMS明朝の12ポイントを使用し、1.5行間隔でお書きください(予稿集原稿サンプルを参照してください。原稿は25字×28行になります。)

3. 発表形式

一般講演は口頭発表で行います。時間は12—15分(含討論)の予定です。発表は、MS-Windowsのパワーポイントによる映写で行います。申し込み状況によりポスター発表を行う場合があります。

4. Vegetarian Research 掲載用原稿

発表内容は、本文を800字又は1800字以内(Vegetarian Research 刷り上り半頁または1頁)にまとめたものを12月12日までにE-mail(inform@jsvr.jp)添付で提出ください。

原稿は、論文題名・著者・所属、英文の論文題名・著者名、本文とします。表や図の掲載はとくに必要性が高い場合のみに限ります。

日本ベジタリアン学会第17回(2017年度)一般講演申込票(発表者のみ)

氏名		
(ローマ字表記)		
所属		
住所	<input type="checkbox"/> 勤務先	<input type="checkbox"/> 自宅
	〒	
	TEL	FAX
E-mail		
懇親会の出欠	<input type="checkbox"/> 出席	<input type="checkbox"/> 欠席
総会の出欠	<input type="checkbox"/> 出席	<input type="checkbox"/> 欠席
		(欠席の場合は委任状をご送付ください)
ふりがな		
発表者(所属)		
(演者に○印)		

講演題目

【予稿集原稿のサンプル】

上 2.5 cm

左 3 cm

右 5 cm

<一般講演>

植物性たんぱく質摂取とインスリン

○土田 満¹、藤本エドワード²、富永国比古³ (1愛知みずほ大・健康科学、²米国キャスルメディカルセンター・ヘルスプロモーション、³ロマリンダ・クリニック)

植物性たんぱく質を豊富に摂取するベジタリアンの健康について、血漿アミノ酸、インスリン等を中心に検討を加えた。

方法：卵乳菜食のベジタリアン（菜食群）と病院の人間ドックを受診した一般健常者（対照群）を性、年齢をマッチさせ各群 20 名（30~40 歳代 10 名、50~60 歳代 10 名）づつ無作為に選択し対照研究を行った。摂取頻度および食事記録、また、血漿アミノ酸分画濃度と血清インスリン、血清脂質系成分値、体脂肪等を測定した。

結果と考察：各年代とも菜食群では豆類、対照群では肉類および魚類の摂取頻度が有意に多かった。たんぱく質の摂取量には差はなかったが、質的な動蛋白とアミノ酸のリジン／アルギニン比に有意差が認められた。

•

•

•

•

•

下 4 cm

← MS 明朝
12 ポイント
1.5 行間隔
31 字
×28 行